

夏休み期間中の皆さんの活躍を紹介します。
皆さん本当によく頑張りました。皆さんの頑張りは那賀川中学校の誇りです。お疲れさまでした。そしてありがとう。

第70回全日本吹奏楽コンクール

◆シンフォニックバンド部 徳島県大会：銀賞

徳島県総合体育大会

◆バスケットボール部【男子】 ベスト4 那賀川中初のベスト4進出

◆サッカー部 ベスト8

◆卓球部【男子】 ベスト16

◆卓球部【女子】 ベスト16

◆ソフトテニス【女子】 団体：**優勝 46年ぶり2回目** → 四国大会へ

個人：**優勝 芳田さん・島田さん** → 四国大会へ

第5位 宮本さん・杉野さん → 四国大会へ

◆剣道部【女子】 団体：**優勝 2大会連続20回目** → 四国・全国大会へ

個人：第3位 内田さん → 四国大会へ

ベスト8 山本さん・甘利さん・高嶋さん → 四国大会へ

◆剣道部【男子】 団体：**優勝 3年ぶり8回目** → 四国・全国大会へ

個人：**優勝 若本くん** → 四国・全国大会へ

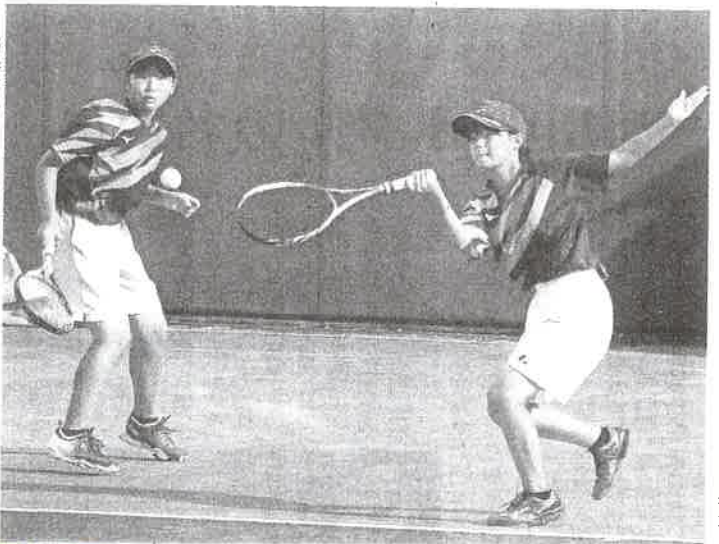
ベスト8 尾畑くん → 四国大会へ

令和4年度第68回全日本通信陸上協議徳島大会

◆男子1500m **第2位** 川田くん 記録4分9秒56 → 四国・全国大会へ

那賀川 46年ぶり女王

男子は市場 2大会連続



女子団体決勝・那賀川対市場 粘り勝ちして優勝を決めた那賀川の宮本・杉野(左)組。相川大神子病院しあわせの星テニスクラブ(山田旬撮影)

重圧はね返し感涙 那賀川

46年ぶりの頂点に振り返り咲いた那賀川女子の選手たちは、優勝が決まるとコート内で感涙にむせんだ。昨年12月の四国インドア大会、4月の県選手権を制するなど、優勝争いの本命に挙げられる中、重圧をはね返して勝利を手にした。

第1ペアの芳田・島田組は、芳田がフォアの逆クロスや正確なバックで相手を左右に揺さぶると、チャンスボールを島田が決めてストレート勝ち。続く2

年生ペアの宮本・杉野組は、宮本が得意のクロスを打ち込み、杉野が「来た球を相手コートに入れることに集中した」とネット際で奮闘。ファイナルゲームまでもつれ込む熱戦を制した。

四国総体を制し、全国切符獲得を目指す。約半世紀ぶりの勝利の喜びをかみしめる芳田主将は「最後まで落ち着いてプレーし、(四国総体でも)勝ち続けたい」と決意を新たにした。(須見千次郎)

裏面もあります

那賀川男女に栄冠

剣道
男子団体 優勝
女子団体 優勝
個人 優勝

那賀川男子、平松啓太(平松啓太)が主将を務める。平松は、3年ぶりに団体を制し、「全員が全中に行くといい強い気持ちで戦えた。個人は、全国的に活躍したい」と気持ちを切り替えた。

一方、喜びの輪の傍らでは、決勝の中盤戦を落とした柏原主将が「キヤテンとして勝たなければいけなかった」と涙を浮かべたが、チームの柱は、懸かる一番を勝ち切り、安堵(あんど)の表情を浮かべた。

また、2年の内田を先陣に全中に出場選手たちは一練習してきたとをだし、切つて上位進出を目標と口をそろえた。

判の3本の旗が上がるのを見届けた。全国切符が懸かる一番を勝ち切り、安堵(あんど)の表情を浮かべた。

一方、喜びの輪の傍らでは、決勝の中盤戦を落とした柏原主将が「キヤテンとして勝たなければいけなかった」と涙を浮かべたが、チームの柱は、懸かる一番を勝ち切り、安堵(あんど)の表情を浮かべた。

また、2年の内田を先陣に全中に出場選手たちは一練習してきたとをだし、切つて上位進出を目標と口をそろえた。

ソフトテニス
女子団体 優勝
男子団体 優勝
個人 優勝

那賀川女子、平松啓太(平松啓太)が主将を務める。平松は、3年ぶりに団体を制し、「全員が全中に行くといい強い気持ちで戦えた。個人は、全国的に活躍したい」と気持ちを切り替えた。

一方、喜びの輪の傍らでは、決勝の中盤戦を落とした柏原主将が「キヤテンとして勝たなければいけなかった」と涙を浮かべたが、チームの柱は、懸かる一番を勝ち切り、安堵(あんど)の表情を浮かべた。

また、2年の内田を先陣に全中に出場選手たちは一練習してきたとをだし、切つて上位進出を目標と口をそろえた。

判の3本の旗が上がるのを見届けた。全国切符が懸かる一番を勝ち切り、安堵(あんど)の表情を浮かべた。

一方、喜びの輪の傍らでは、決勝の中盤戦を落とした柏原主将が「キヤテンとして勝たなければいけなかった」と涙を浮かべたが、チームの柱は、懸かる一番を勝ち切り、安堵(あんど)の表情を浮かべた。

また、2年の内田を先陣に全中に出場選手たちは一練習してきたとをだし、切つて上位進出を目標と口をそろえた。